みつけ 市議会だより

2026
No.132

令和８年11月６日発行



花と緑のまち 見附（みつけコミュニティバス　ほっとぴあ前）

９月定例会

●9月定例会の概要…… 2～3

●一般質問（13人）…… 4～7

●特集　委員会活動報告会&意見交換会…… 8～9

●街かどで一言、議会日誌等 …… 10

発　行：見附市議会
編　集：議会だより編集委員会
〒954-8686
新潟県見附市昭和町２-１-１
TEL：(0258) 62-1700（代表）
FAX：(0258) 63-1006
E-Mail：gikai @ city.mitsuke.niigata.jp

令和８年　第４回（９月）定例会

令和８年第４回（９月）定例会は、令和８年９月３日から18日までの16日間の会期で開催し、３日の招集日には、補正予算や決算認定など12件の議案と請願１件を上程し、各委員会に付託しました。

７日から９日には13人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

10日は総務文教委員会、11日は産業厚生委員会を開催し、付託された議案について、審査を行いました。

３日および14日から16日までの４日間で決算特別委員会を開催し、令和７年度一般会計をはじめとする各会計８件について審査を実施しました。

最終日の18日は、星野総務文教委員長、加藤産業厚生委員長による委員会審査報告の後、付託議案等の採決が行われ、いずれの議案とも全会一致で可決された他、追加議案として財産の取得について１件が全会一致で可決されました。

また、請願３号についてはそれぞれ賛成討論、反対討論が行われた後、採決し、賛成少数により不採択となりました。意見書発議１件については、全会一致で可決されました。

決算の認定では、佐野勇決算特別委員会委員長の委員会審査報告の後、付託議案の採決が行われ、いずれの議案とも全会一致で認定されました。

また、任期満了による教育委員会委員の任命及び固定資産評価審査委員会委員の選任について、今井ちえこ氏（今町２）ほか３名の任命及び選任に同意しました。

その他、議員発議として「私立高校の入学金等の負担軽減と専任教員増など教育条件の向上をはかるため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」を全会一致で可決し、意見書については、内閣総理大臣他関係機関に提出しました。

審議結果は次のとおりです。

審議結果一覧

採決結果（◎：全会一致で可決されたもの ○：賛成多数で可決されたもの ×否決されたもの）
付託委員会　（総務：総務文教委員会　産業：産業厚生委員会）

		議　案　名	議　案　内　容	本会議採決結果	付　託委員会
市長提出議案（17件）	議第68号	令和７年度見附市一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入 211 億 4,770 万 6,551 円 歳出 201 億 785 万 4,946 円	◎認定	決算
	議第69号	令和７年度見附市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 35 億 2,840 万 8,612 円 歳出 34 億 2,145 万 3,397 円	◎認定	決算
	議第70号	令和７年度見附市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 5 億 9,091 万 8,657 円 歳出 5 億 7,899 万 1,641 円	◎認定	決算
	議第71号	令和７年度見附市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 44 億 3,802 万 7,062 円 歳出 43 億 3,308 万 4,845 円	◎認定	決算
	議第72号	令和７年度見附市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 4,926 万 3,370 円 歳出 2,126 万 9,959 円	◎認定	決算
	議第73号	令和７年度見附市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	歳入 12 億 8,542 万 8,884 円 歳出 12 億 7,480 万 8,453 円	◎可決及び認定	決算

審議結果一覧

採決結果（◎：全会一致で可決されたもの ○：賛成多数で可決されたもの ×：否決されたもの）
付託委員会　（総務：総務文教委員会　産業：産業厚生委員会）

		議案名	議案内容	本会議採決結果	付託委員会
市長提出議案（17件）	議第74号	令和７年度見附市下水道事業会計決算の認定について	歳入 19 億 195 万 9,589 円 歳出 19 億 2,110 万 7,240 円	◎認定	決算
	議第75号	令和７年度見附市病院事業会計決算の認定について	歳入 23 億 9,497 万 4,663 円 歳出 25 億 1,244 万 4,811 円	◎認定	決算
	議第76号	令和８年度見附市一般会計補正予算（第２号）	歳入歳出それぞれ６億 4,700 万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 209 億 6,900 万円とするもの	◎可決	総務 産業
	議第77号	令和８年度見附市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	歳入歳出それぞれ 900 万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ６億 7,300 万円とするもの	◎可決	産業
	議第78号	令和８年度見附市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	歳入歳出それぞれ 8,750 万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 44 億 9,980 万円とするもの	◎可決	産業
	議第79号	令和８年度見附市病院事業会計補正予算（第１号）	資本的収入および支出にそれぞれ 680 万円を追加し、資本的収入および支出をそれぞれ４億 2,680 万円とするもの	◎可決	産業
	議第80号	教育委員会委員の任命について	今井ちえこ氏（今町２）	◎同意	
	議第81号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	清水慶太郎氏（嶺崎１）	◎同意	
	議第82号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	寺尾洋子氏（葛巻２）	◎同意	
	議第83号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	岡　智紀氏（今町５）	◎同意	
	議第84号	財産の取得について	一般事務用パソコン等購入 契約金額：3,003 万 9,350 円 契約の相手方：株式会社 NS・コンピュータサービス	◎可決	
請願	請願３号	学校給食費無償化の拡充を求める請願	国は中学校の給食費無償化を実施し、「給食費負担軽減のための交付金」の基準額を増額すること	×不採択	総務
議員発議（１件）	発議第2号	「私立高校の入学金等の負担軽減と専任教員増など教育条件の向上をはかるため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の提出について	私立高校の施設設備費を「高等学校等就学支援金の対象とすること、私立高校入学金への助成制度を新設すること、私立高校において選任教員増が可能となるよう、経常費助成を増額することを要望	◎可決	

会派別議案賛否一覧

※全会一致でなかった議案

議案番号		あおぞら会		新政りべらる			共産党議員団		みつけ創政		みつけ未来の会			無会派	無会派	無会派	無会派
		重信元子	渡辺美絵	樺澤直純	信賀陽子	佐々木志津子	馬場哲二	小坂井哲夫	五十嵐遼	佐野統康	大坪正幸	小林園以	佐野勇	エラヒ美砂子	加藤秀之	星野雄哉	関三郎
請願3号	学校給食費無償化の拡充を求める請願	×		×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※○は賛成、×は反対、－は棄権、議長は裁決に加わらない。

企業誘致



関　三郎

Q.見附市の発展に必要不可欠な企業誘致の進捗状況について

質　問　市が前面で企業誘致を行うべき。土地開発公社を活用し産業用地を確保してはどうか。

A.他地域で官民連携により企業誘致につなげた事例があり、これに沿った形で進めたい。

答　弁　企業誘致を進めていく中で、市が主導する用地確保が適当と判断した場合は、土地開発公社を含め最適な方法を検討する。企業や開発業者から複数の問い合わせがあったが、具体化には至っていない。

他の質問　克雪体制の整備と物流拠点化の確保について

詳しくは動画をチェック！→

ふるさと納税



大坪　正幸

Q.コメ余り、米価下落の中でふるさと納税の現況と今後の見通しについて

質　問　昨年度は６億９，４６２万円で過去最高を記録したが直近の実績と今後の見通しは。

A.８月末９，０７２万円、昨年度３億５，２３７万円で７４％減少、今後も厳しい。

答　弁　過去２年間の寄付の９割が米であり今後も寄付額全体への影響は避けられない。寄付額が３倍になったジュエリーの他に需要が見込まれる品を持つ事業者へ出品の働きかけや、既存返礼品のバリエーションの強化、露出の拡大などに引き続き力を入れていく。

他の質問
- 打ち手の検証、ウエルネスタウンの現況と課題について
- 公共施設の未来はどうなる？グランドデザイン案の市民説明について

詳しくは動画をチェック！→

医療・介護



馬場　哲二

Q.市立病院を中核とした地域医療・介護の充実について

質　問　急性期病床がある救急告知病院として、包括病床が機能する今の状況の維持を。

A.現在の役割を維持し、地域に必要な医療を提供していくことが重要と考えています。

答　弁　今後も市内で唯一の入院施設をもつ病院として入院外来救急を支える現在の役割を維持・提供していくことが重要と考えています。地域医療の最後のとりでである自治体病院がその役割を果たしていけるよう必要な支援を国に求めていきます。

詳しくは動画をチェック！→

公共施設



佐野　統康

Q.ネーブルみつけの今後の在り方について

質　問　ネーブルみつけの建物改修等の方針と「みらい市場」の運営状況を伺う。

A.ネーブルみつけの改修については、公共施設最適化の検討の中で方針を定める。

答　弁　ネーブルみつけは建物の老朽化が著しく、緊急的な修繕を順次行いながら、現在進めている公共施設最適化の検討の中で他の施設との役割分担も踏まえながら、今後の方針を定めていく。みらい市場の運営は、見附市観光物産協会と連携して取り組んでいく。

詳しくは動画をチェック！→

防災体制



加藤　秀之

Q.熊本地震の教訓から考察する見附市の防災体制について

質　問　事前防災と地域防災力の底上げについて、見附市の支援体制の仕組みは。

A.多様な媒体で迅速に情報を伝達し、安全な避難行動へつなげる。

答　弁　全市防災訓練などのさまざまな機会を通じて、市民や地域の自助、共助による地域防災力を強化し、意識啓発に取り組むものとしています。自主防災組織による防災力強化の取組が、地域コミュニティなどの協力を得ながら実施されることが期待されます。

他の質問　社会的養育推進の潮流と見附市の課題について

詳しくは動画をチェック！→

農業支援



佐野　　勇

Q.「コメの仮渡金」の下落から農家をどう守るか

質　問　仮渡金の下落によって、農業収入や経営にどの程度影響が出るか、市長の認識を伺う。

A.コメ価格が大きく変動する状況は良いことではない。コメ価格の安定が農業経営の安定につながる。

答　弁　今回の仮渡金の大幅な下落は、本県だけでなく、全国的な課題であります。国・県の動向を注視しつつ、今後の米価の動向や、農業者の経営状況を見極めて、根本的な課題をしっかりと国に伝えていきたい。

詳しくは動画をチェック！→

観光施策



樺澤　直純

Q.見附市の観光スポットについて

質　問　過去のナイトガーデンの検証から課題の解消可能なものや再検討する条件は。

A.課題は解消可能と考えるが、相当の費用負担やさまざまな対策が求められる。

答　弁　安全面を担保するための十分な電力量の確保、駐車場・園内をカバーする誘導員の配置、来園者への鑑賞マナー徹底など相当の費用負担や対策が必要となり、費用対効果から解消は可能であっても容易ではないと考え、再検討の条件整理は行っていない。

他の質問　市民プール、学校プールについて

詳しくは動画をチェック！→

介護・福祉



佐々木志津子

Q.高齢者の医療・介護・福祉施策について

質　問　介護老人保健施設の介護医療院移行によって生じるデメリットは何か。

A.在宅復帰支援機能の縮小はデメリットだが、長期的な入所希望の人も増えている。

答　弁　近年では在宅での介護の継続が難しい人が増えている。今後の高齢化や世帯構成の変化を踏まえて地域療養や看取りに対応できる機能の必要性は高まると考えており、市立病院と介護医療院の役割を明確にして切れ目のない体制を目指していく。

詳しくは動画をチェック！→

学校統廃合



五十嵐　遼

Q.学校適正配置計画を契機とした持続可能な教育環境の構築について

質　問　通学手段の検討状況と具体的な通学手段や支援方針を示す時期はいつか伺う。

A.基本的な方針案を令和９年度のなるべく早い段階で示したいと考える。

答　弁　次期「見附市地域公共交通計画」策定と連動させ、委託業者の専門的な力も借りて検討を進めている。スマートウエルネスの理念も継承し、子どもたちにできるだけ歩いてもらうこと、既存の公共交通資源等を最大限活用することも視野に入れ検討している。

他の質問

詳しくは動画をチェック！→

公共交通



小坂井哲夫

Q.次期「地域公共交通計画」策定に向けた取り組みについて

質　問　公共交通の一つ、コミュニティワゴン運用が地域コミュニティ任せになっている。

A.地域住民の交通手段の確保を地域課題として認識し、その解決に自ら取り組んでいる。

答　弁　市内 11 地区の地域コミュニティのうち、４地区では地域から市街地までの間を結ぶコミュニティワゴン車の定期運行を事業として実施しております。市としては地域公共交通の一端を担う重要な活動であると認識をしております。

他の質問　中学校給食費無償化を進める一歩を

詳しくは動画をチェック！→

医療・介護



重信　元子

Q.ケアプラザ見附の介護医療院への転換について

質　問　介護医療院への転換により、経営改善が出来るとの判断で、踏み切ったのかを問う。

A.転換による介護報酬上の収入増加で、現状より一定程度の改善が見込める。

答　弁　介護医療院への転換は、施設の機能を利用者の状況に合わせて見直し、それが収支の改善につながると判断したため。しかし赤字が全て解消するとは思っていない。施設の定員や人員配置が固まっていない為、具体的な収支改善額を示すことは出来ない。

他の質問　快適な空間の維持･保全について

詳しくは動画をチェック！→

地域経済



星野　雄哉

Q.人口減少社会における地域経済の成長について

質　問　人口減少下で地域経済を成長させるため、市は何を目指しどう取り組むのか。

A.地域経済の成長実現、若者が働きたい産業界をつくり、優良企業の誘致を進める。

答　弁　人口減少対策を最重要課題とし、企業訪問や年２回の景況調査、商工会・金融機関との情報交換で経営課題や投資計画を把握。製造品出荷額や創業件数等で成果を検証し、企業誘致や起業創業、新規事業支援を進め、若者が働きたい産業界を目指す。

他の質問

詳しくは動画をチェック！→

医療費助成



信賀　陽子

Q. 見附市妊産婦医療費助成事業について

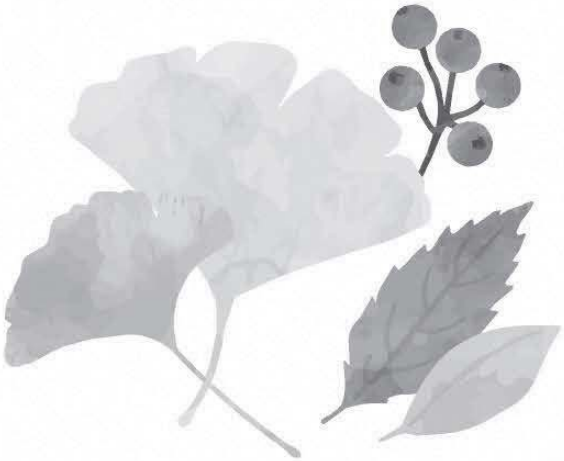
質　問　申請の負担と申請方法の改善の声があります。受給者証の発行は可能ですか。

A. 負担は市でも承知している。受給者証の発行は、制度改正を行うことで可能となる。

答　弁　窓口で助成対象となる医療費を確認することで、確実な形で助成を行えることをメリットと捉えて償還払い方式を採用している。受給者証の発行は制度改正を行うことで可能となるが、追加経費も必要となる。費用対効果を勘案し、慎重に検討を進めていきたい。

他の質問　雪下ろしの安全対策について

詳しくは動画をチェック！→



こども議会が開催されました

８月２４日、見附青年会議所による見附こども議会が開催されました。

参加した７名の小中学生は、議員とともに市内の商店街や駅前など、実際に見附のまちを見てまわり、商店街の活性化や駅周辺の魅力向上など、テーマに沿って市への質問を作りました。

こども議会当日は、市議会の議場で代表者による「見附こども議会宣言」の後、子どもたちは緊張した様子ながら、市長を始めとする執行部に堂々と質問を行いました。

今後も子どもたちや保護者が市議会を身近に感じ、議会への関心がより高まることを期待しています。





委員会活動報告会＆意見交換会

見附市議会では、令和５年６月に議会改革調査特別委員会を設置し、議会の活性化と議会改革に関する協議を進めてきました。令和７年度からは、各常任委員会ごとにその年度のテーマを設定し、視察や調査、市民との意見交換などを行いながら、議論を深め、政策提言に反映させていく活動に取り組んでいます。

令和８年度は、８月６日（木）に総務文教委員会が、８月７日（金）に産業厚生委員会が、各テーマに沿って活動報告と意見交換会を行いました。その様子をご紹介します。

総務文教委員会

テーマ　公共施設の最適化

令和８年８月６日（木）　午後１時30分から　　見附市役所５階　委員会室

《概要》

総務文教委員会では、昨年度から継続した年間テーマである「公共施設の最適化」について、行政視察や執行部との意見交換などを通じて調査研究を進めています。

８月６日の委員会活動報告会・意見交換会では、公共施設の建設や設備、維持管理などに携わる地域企業の皆さんにご参加いただき、これまでの委員会活動を報告するとともに、専門家による基調講演と意見交換を行いました。

《基調講演》　「公共施設マネジメントにおける地域企業の役割」

講師　日本大学理工学部助教・国土交通省 PPP サポーター　藤木秀明氏

講演では、公共施設の老朽化や更新需要が増える一方、公共投資に充てられる財源には限りがあることから、施設の複合化や効率的な維持管理が重要になること、また、公共施設マネジメントを進めるうえで地域企業との連携が不可欠であることなどが説明されました。

また、限られた予算で効率的に施設を維持管理するための包括的民間委託や、使われなくなった施設について地域企業が新たな活用の担い手となる可能性についてもお話しいただきました。



《意見交換会》　出席者：13名　主な意見を紹介します

維持管理・更新について

・メンテナンス費用や人材不足への対応が課題
・利用状況の変化も踏まえて今後を考えるべき
・民間の力を活用する仕組みが必要
・施設を活用する目的を明確にすることが重要

地域企業との連携について

・市の具体的な方向性を早い段階で示してほしい
・建設、設備など異なる業種同士や、市内外の事業者との連携を深める必要がある
・物価等の上昇を踏まえ、国の有利な補助制度なども活用しながら、適正な事業費を確保してほしい

現場の声を生かす仕組みについて

・公共施設の状態や地域の実情をよく知る地元企業の声を、もっと施設再編や維持管理に生かしてほしい
・現在はそれぞれの事業者が個別に関わっており、業種を越えて情報や課題を共有する機会が少ない
・行政と地域企業が継続的に意見交換できる場を設けてほしい
・子育て世代だけでなく、高齢者など多様な利用者を意識した施設活用を考える必要がある



総務文教委員会意見交換会集合写真



産業厚生委員会意見交換会集合写真

産業厚生委員会

テーマ　公共交通

令和８年８月７日（金）　午後２時から　　見附市役所５階　委員会室

産業厚生委員会では、市内各コミュニティから参加者を募り、市内における「公共交通」の問題を話し合っていただきました。地元住民の足となる交通をどのようにとらえていて、抱えている問題は何か、各コミュニティでの取り組みを共有する場として、意見交換会を行いました。

人口の減少、高齢化社会の到来、人手不足と、見附市のみならず全国どこも同じ問題を抱えています。高齢であっても積極的に社会参加できる権利（交通権）が唱えられるようになってきました。日に１～２本など、運行間隔が極端に長い路線、移動しづらい地域は「交通空白」として数えられるようになっています。

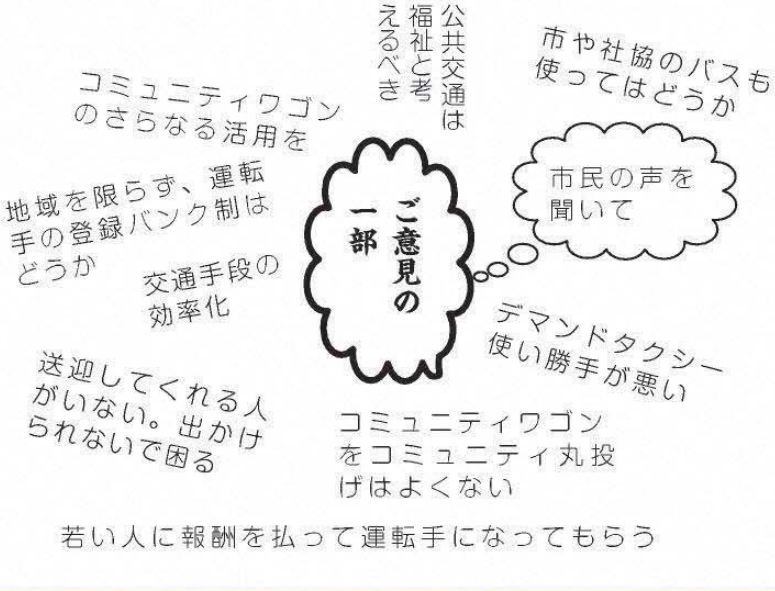
生活を支えるため、生き生きと暮らしていけることを保障する公共交通の重要さは身に染みて感じるところがあります。

今回の取り組みは、来年度から始まる市の公共交通計画、第３期の策定時期と重なっています。市もアンケートを市民に配布し、公共交通の充実を探っています。いただいた意見を産業厚生委員会としてまとめ、市に挙げていきたいと思っています。

参加していただいた方々には、見附市の公共交通に関心を持ち続けていただき、市民の移動を見守る一員であることをお願いいたします。

意見交換会に参加していただきありがとうございました。

《意見交換会》　出席者：20 名　主な意見を紹介します







議会日誌

＝８月＝
6日　総務文教委員会活動報告会・意見交換会
7日　産業厚生委員会活動報告会・意見交換会
18日　県議会議長会総会
20日　会派代表者会議
　　議会運営委員会
21日　議員協議会
27日　議会運営委員会
31日　議会運営委員会

＝９月＝
3日　市議会定例会（議案上程）
　　決算特別委員会
　　議会だより編集委員会
7日　市議会定例会（一般質問）
8日　市議会定例会（一般質問）
9日　市議会定例会（一般質問）
10日　総務文教委員会
11日　産業厚生委員会/議員協議会
14日　決算特別委員会
15日　決算特別委員会（総務文教分科会）
16日　決算特別委員会（産業厚生分科会）
　　決算特別委員会
18日　市議会定例会（最終日）/議会運営委員会

（行政視察来庁）
8月：京都府八幡市、福岡県八女市、福島県南相馬市
10月：茨城県守谷市、茨城県結城市、茨城県鹿嶋市、
　　長崎県松浦市、神奈川県鎌倉市、
　　埼玉県坂戸鶴ヶ島水道企業団

編集後記

４年間の議員任期の最後の議会でした。

９月定例議会では、令和７年度決算を審査し、市民の皆様の税金がどう活用されたかを議会としてチェックします。少子高齢化・人口減少社会が進んでゆく中、地方自治体の限られた税収の使い道を市民一人一人が関心を持つ事が今後益々大切になります。

見附市内の公共施設は、「見附市公共施設等総合管理計画」等により、計画的な維持管理、最適化が進められています。

10月25日の市議会議員選挙には、私を含む数人が立候補をしないと表明しており、改選後には新たなメンバーで多数の市政課題に真摯に取り組むことになります。「市民の幸せの為」に議員として日々学び精進されることを期待致します。

議会だより編集委員　　佐野　統康

議会だより編集委員会
委員長　佐々木志津子
副委員長　重信元子
委　員　小林園以　小坂井哲夫　佐野統康

議会を傍聴しませんか

◆12月市議会定例会　会期予定◆

月日	曜日	開議時刻	会　議
12.11	金	午前10時	本会議（議案上程等）
12.15	火	午前10時	本会議（一般質問）
12.16	水	午前10時	本会議（一般質問）
12.17	木	午前10時	本会議（一般質問）
12.18	金	午前10時	総務文教委員会
12.21	月	午前10時	産業厚生委員会
12.23	水	午前10時	本会議（採決）

※定例会は、すべて傍聴できます。
①傍聴の定員は本会議５３名、委員会は５名です。
②本会議及び委員会は、生中継と録画中継をインターネットで配信しています。見附市ホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。
《ホームページアドレス》
（http://www.city. mitsuke .niigata.jp/）

このコーナーは、
議会を傍聴した感想や市議会に
対するご意見を掲載しています。

《街かどで一言》

「市議会を傍聴して思う事」

見附市議会を何回か傍聴させてもらって感じた事は、傍聴人の数が余りにも少ないという現実です。ひどい時は私一人と記者の方だけという時もありました。私が居なければ、記者の方だけという状況もあったと思われます。

市民の関心の薄さを痛感させられました。せめて、自分の支持する議員の質問の時くらい傍聴してもらいたいものです。また、議員の方々も自分を支持してくれる人たちに自身の質疑応答の傍聴を呼びかけてほしいものです。

市の行政の大切な課題を議員が質問して、市長始め市の担当者が、その質問に答えるという市議会の場を自分の目で見て判断するという事も大事であると思います。「百聞は一見に如かず」と、ことわざにあるように、そういう市民の方が増えることを願っております。傍聴人の数が増えることによって、市議会も活発化すると思います。

そういう日が来る事を期待します。

元町　板垣信一